

平成30年4月9日

余部小学校・幼稚園保護者 様

余部小学校・幼稚園
校園長 岡本 哲郎

香美町に警報が発せられた場合の対応について（お知らせ）

桜花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校園教育の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、みだしの件につきまして、下記のとおり対応しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

1 朝6時30分の気象情報で、香美町に下記の警報（波浪・高潮警報を除く）が発せられている場合

- ◎ 児童は自宅待機とします。
- ◎ 8時00分の段階で警報が続く場合は、臨時休校とします。
- ※ 警報の種類は、大雨警報、洪水警報、暴風警報、大雪警報、暴風雪警報、及び津波警報とこれらの組み合わせを対象とします。

2 8時00分の段階で警報が解除された場合

- ◎ 解除された時刻・道路の状況を校長が判断し、防災無線にて登校の指示をします。
- ※ 併せてPTAの緊急連絡網（電話）を使用します。

3 授業中に警報が出た場合

- ◎ 校長が判断（下校か学校待機か）し、指示します。
- ※ 防災無線・PTA緊急連絡網（電話）で連絡いたします。

4 その他

- (1) 自宅待機をする場合、家庭内で宿題や自主学習・読書などをさせてください。戸外での遊びは禁止です。
- (2) 注意報の場合は、特に定めませんが、その後の気象情報に注意をするとともに、状況把握に努め、必要に応じて学校と連絡をとり適切な対応をしてください。

平成30年4月9日

余部幼稚園・小学校保護者様

余部幼稚園・小学校
校園長 岡本哲郎

地震発生時における児童園児の引渡しと待機の判断について（お知らせ）

桜花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校園教育の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、みだしの件につきまして、下記のとおり対応しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

記

《震度5弱以上の地震が発生した場合》

1 児童園児が在宅中の場合

- ◎ 学校より連絡があるまで、児童園児は自宅または避難所に待機とします。
- ◎ 大津波・津波警報が発令された場合は、避難場所へ避難する。
※校内及び通学路の安全が確認され大津波・津波警報が解除された場合は、学校より防災無線で登校の連絡をします。

2 児童園児が登下校中の場合

- ◎ 揺れが収まったら、学校または家の安全な方へ避難する。
※ 震度4以下の地震の場合は、危険物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に避難し、揺れが収まったら、登校する。
- ◎ 大津波・津波警報が発令された場合は、避難場所へ避難する。

3 授業中の場合

- ◎ 引渡しによる下校をします。保護者の迎えがあるまで、児童園児は学校待機とします。
- ◎ 大津波・津波警報が発令された場合は、学校裏山へ避難します。
※警報が解除されるまでは、引渡しは行わず、学校または避難場所等で待機します。
※警報発令中に保護者の迎えがあった場合は、警報が解除されるまで、引渡しは行わず児童園児とともに避難します。
※震度4以下の地震の場合は、異常がなければ授業を再開します。通学路の安全を確認の上、安全に配慮して集団下校します。

平成30年4月9日

余部小学校・幼稚園
保護者様

余部小学校・幼稚園
校長 岡本哲郎

弾道ミサイル発射に係るJアラート等を通じた緊急情報発信時における 児童園児の待機等の判断について（お知らせ）

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校園教育の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、みだしの件につきまして、香美町教育委員会より児童園児の「弾道ミサイル発射に係るJアラート等を通じた緊急情報発信時の対応」が示されています。本校では、下記のとおり対応しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

記

	緊急情報発信時	発令後の対応	安全の確認方法
園児児童が 在宅中	・自宅待機	・安全の確保が確認できる まで自宅待機 ・安全の確保が確認できれば登校（園）	テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、 情報収集に努め、安全の確保等について確認
園児児童が 登下校（園） 中	・下記の行動例に基づき行動 ・公共交通機関乗車中などについては当該機関の指示による	・安全の確保が確認できる まで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば登下校（園）	【確認事項の例】 ・ミサイルの飛翔方向、 着弾場所 ・ミサイルの着弾や落下物の有無
園児児童が 在校（園）中	・下記の行動例を参考とした、危機管理マニュアルに基づいた対応	・安全の確保が確認できる まで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば授業（保育）を再開、場合によっては下校（園）	・学校（園）、通学（園） 路等の被害の有無 等

<ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例>

活動場所の別	とるべき行動の例
屋外にいる場合	・近くのできるだけ建物の中、又は地下などに避難する。 ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
屋内にいる場合	・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

